

社会科

【研究主題】

今を語り、明日を創る生徒の育成

【研究副主題】

現代社会を俯瞰し、学びをつなげる学習の展開

公開授業

学級：3年1組 授業者：中本 雄太



～戦争はなぜ起きるのか～

先の大戦から80年を数える現在においても、世界では戦争や紛争が絶えず、**平和**を構築するための取組は、国際的にも喫緊の課題となっています。私たちが暮らす長崎においても、戦争の悲惨な歴史を持つ県として、国境や人種を越え、全世界に向けて恒久平和を訴え続けることが求められています。中学校学習指導要領社会の目標には、「(略)グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者(略)を育成することを目指す。」と示されています。このことから、社会科は、**平和**の価値を次世代に伝え、その実現に向けた努力を継続するうえで重要な役割を担っているといえます。

そこで、“**これまでの学習を振り返る中で平和について深く考えさせ、日常生活や地域社会との関連性を見いだしながら、平和構築に向けた学びを促す授業**”を御提案いたします。

これまでの学習で、歴史的事象を学び、私たちが生きている現代社会の中で起きている事象と比較したり、関連づけたりすることで、「歴史の学び」と「今」をつなげるサイクルを繰り返し、「平和」に対する考えを深めてきました。

当日は、生徒が、これまでの学習を通して考えた「戦争はなぜ起きるのか」に対する答えを吟味することを通して、「平和とは何か」、「平和構築のためにどのような学びが必要か」を考えます。歴史の学びと自分の生活を往還しながら考え、語り合い、学びの価値を実感する生徒たちの姿を御覧いただければと思います。

メタ認知との関わり

単元や年間を貫く問いを追究する学習を進める中において、これまでの学習や、自分自身の認識の変容を振り返り、メタ認知を働かせる場面を設けることで、主体的に社会に参画しようとする態度を育みます。

「戦争はなぜ起きるのか」という問いに対する当初の意見と第一次世界大戦の学習を終えた段階で構築した意見、さらに、現在の意見を比較させることを通して、「平和」に対する認識の変容を自覚させ、メタ認知的活動がより一層促される様子を御覧ください。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和7年6月20日(金) 13:00 ~ 16:10

